

大学院化学特別講義

演題：生物活性天然物の化学的研究：COPD バイオマーカー-desmosine
の全合成と shikimic acid 抽出・単離法の革新

講師：臼杵豊展（上智大学理工学部物質生命理工学科 助教）

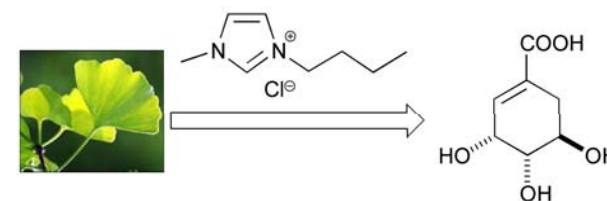
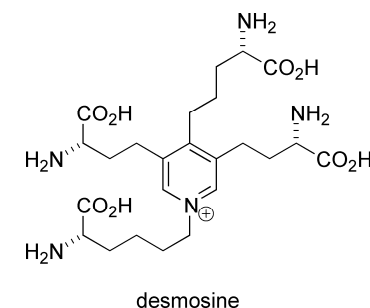
日時：2012年1月16日（月） 14:30～16:00

場所：11-6 教室（11号館2階）

要旨：1) COPD（慢性閉塞性肺疾患）は別名タバコ病とも言われる肺の生活習慣病であり、世界で死亡原因の第4位に挙げられている。本研究では段階的な Pd 触媒によるクロスカップリングを基軸として、COPD バイオマーカー-desmosine の最初の全合成を達成した。

2) インフルエンザ治療薬タミフルの合成の出発原料である shikimic acid は、生物資源の問題等により定常的な供給に問題を抱えている。そこでセルロースを溶解するイオン液体を用いることで、イチョウ葉に含まれる shikimic acid の革新的な抽出・単離法を確立した。

臼杵先生は、東北大学大学院理学研究科化学専攻にて、平間正博教授、井上将行助教授（現：東京大学薬学部教授）のもとで2005年に博士号を取得されました。その後、日本学術振興会海外特別研究員として、米国コロンビア大学化学科 中西香爾教授のもとで博士研究員として研鑽を積み、2008年4月より現所属にて研究室を主宰されています。多くの院生、卒研生、教職員の皆様の御来聴をお待ちしております。



連絡先：理学部化学科 齊藤隆夫、杳村憲樹（内線：5797）